

経営学委員会・総合工学委員会合同 サービス学分科会

サービス学の教育実装に関する小委員会 (第24期・第2回)

議事録

1. 日時 平成30年9月4日(火) 10:00~12:15
2. 会場 日本学術会議5階5-B
3. 出席者 鈴木久敏、柘植綾夫、椿広計、西尾チヅル、平田貞代、山本昭二  
(五十音順、敬称略)  
欠席者 大蔵典子(敬称略)  
参考人 東京大学特任教授 北川源四郎 先生
4. 議事概要
  - 1) データサイエンス教育の全国普及に向けた取組
    - ・北川先生により、配布資料「データサイエンス教育の全国普及に向けた取組み」、「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム News Letter」に基づき、サービス学の教育実装にも参考になる事例として、データサイエンス教育の設立に関する経緯および最新情報について説明していただいた。
  - 2) 質疑
    - ・日本では、統計学専攻を設けず、医学、工学、心理学などの“分野点在方式”で教育がなされてきた。どの大学でも、時間割、単位認定条件、校舎、教員などが縦割りになっている問題があり、新専攻の設立は難しい。サービス学の分野も同様の問題を抱えている。  
データサイエンス教育は、専攻新設に拘らず、既存科目をいかしスキルセットの確立を重視し学部横断型教育として構成した点で、どの大学にも無理なく適用できる可能性がある。
    - ・データサイエンスに限らず、大学で獲得した知識や技法を産業や社会の何に役立てるかまで組み立て実践するための“マネジメント知識”を含めて大学で教えることが大変重要である。
  - 3) その他
    - ・学士課程教育参照基準を土台にサービス学の体系をいかに作るかの議論が必要である。
  - 4) 次回の予定
    - ・次回は10月22日から2週間以内を目安に開催する予定である。 以上